

『課題解決型インターンシップ』 古賀市役所 農林振興課 実習報告

課題解決型インターンシップとは、

- ・『実践する力』（学んだ知識を応用し、実際の仕事の中で活用していく力）の育成を目的とした、2・3年生対象の選択科目「インターンシップⅠ」「インターンシップⅡ」の1つの型。
- ・企業が実際に抱える課題に取り組み、課題を解決するためのプロセスを実践することで実社会でも応用可能な汎用的能力を養うことを目的とする。2名程度でチームを組み活動することにより、自分の専門性を活かしながら他者とチームで働く力を養うことができる。

○企業名：古賀市役所 農林振興課

○概要：農業者支援を目的としたガバメントクラウドファンディング効果的なPR方法の検討と提案。

○達成目標：ガバメントクラウドファンディングを活用したプロジェクトの寄附金を募るPR方法の提案、プロジェクトのPRページの作成。

※ガバメントクラウドファンディングとは政府（自治体）が行う寄附制度であり、自治体が抱える問題解決のため、寄附金の使い道をより具体的にプロジェクト化し、そのプロジェクトに共感した人たちから寄附を募る仕組み。

○提案内容：5つの事業別にPRページの原稿の作成を行った。イチゴ（あまおうと白イチゴ）の海外輸出や観光農園の害獣対策、休憩スペースの設置についての提案を行った。



取材先の様子



農林振興課の方々



発表用スライド作成中



提案内容発表の様子

○古賀市役所の方々や取材に活かしていただいた方々とインターンシップで関わることが出来て良かったです。今まで、取材をしたことも、市長の前でプレゼンテーションをすることもなかったので貴重な体験をさせてもらえました。取材することの難しさ、提案することの難しさなどを知ることができて良かったです。この経験をこれから活かしていけたらと思います。（情報工学部 情報工学科3年 平田那音）

○今回古賀市役所にインターンシップ先として行かせていただいたことで、アルバイトとはまた違った仕事の大変さや楽しさを知る事ができました。取材を一から自分たちで考えて行い、その内容をまとめ、人前でプレゼンテーションを行ったことは自分の成長につながる良い経験になりました。今後の大学生活や社会に出たときに今回学んだことをしっかり活かしていきたいです。（社会環境学科2年 下間美雨）